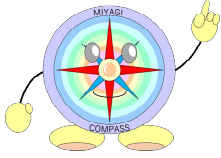
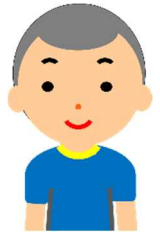


単元（題材）の個別の目標を考える

単元（題材）の個別の目標は育成を目指す資質・能力の三つの柱で設定します。ただし、「学びに向かう力、人間性等」については学習指導要領に内容が示されていないものが多いです。その場合は、該当段階の「学びに向かう力、人間性等」の目標を参考に作成します。



単元の個別の目標や評価規準を設定する際にも、「**目標・評価規準設定シート**」（p. 2-46）を活用することができます。

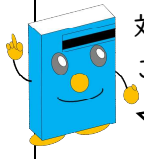
単元（題材）の個別の評価規準を考える

単元（題材）の個別の目標を踏まえて、単元（題材）の個別の評価規準を設定します。目標が達成される**具体的な姿**を考え、学習評価を行うための評価規準を設定します。

単元（題材）の個別の目標及び評価規準の設定例

例：算数科 単元名「かぞえめいじんになろう」（さんすう☆☆(1) 文部科学省) **2段階**

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
内容	A 数と計算 (ア)㊤ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。	A 数と計算 (イ)㊤数詞と数字, ものとの関係に着目し, 数の数え方や数の大きさの比べ方, 表し方について考え, それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。	(2段階の目標) A 数と計算 ウ 数量に関心をもち, 算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

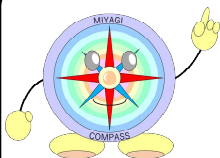


内容は学習指導要領に記載しています！

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
単元の個別の目標	<u>5までの</u> ものの集まりや数詞と対応した数字の意味が理解できる。	<u>5までの</u> 数詞と数字, ものとの関係に着目し, 数の数え方や数の大きさの比べ方, 表し方について考え, それらを学習や生活で興味を持って生かすことができる。	<u>5までの</u> ものの集まりや数詞に関心をもち, 数の数え方や数の大きさの比べ方, 表し方のよさを感じながら, 興味を持って学ぼうとする。

単元の評価規準→

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の個別の評価規準	牛乳やストローの集まり, <u>それぞれ</u> の数詞と対応した5までの数字が分かっている。	牛乳とストローの関係において, <u>5までの</u> 数の数え方や数の大きさの比べ方, 表し方について考え, 学習や生活の場面に応じて考えている。	牛乳やストローを数える活動において, <u>5までの</u> ものの集まりや数詞に関心をもち, 生活や学習に活用しようとしている。



学習指導要領では、2段階は10までの数について身に付くよう指導します。Aさんは3まで身に付けています。実態を考えると、この単元で10まで身に付けることが難しいと考え、5までの数を身に付けることをねらっています。